

誰にでもできる

道徳科授業の 的を射たな発問の構成

後藤 忠

1 道徳科で扱うのはどちらの方ですか？

ACmessage:1 「心」は見えないけれど、「心遣い」は見える。

ACmessage:2 「思い」は見えないけれど、「思いやり」は見える。

「心」？それとも「心遣い」？ 「思い」？それとも「思いやり」？

2 人間にとって本当に大切なものは目には見えません

その見えないものが内面から人間をしっかり支える。

3 見えない心を見るには「鏡」が必要です ⇒ **それが教材！**

よい教材は子供の心を鮮明に映し出す。

教材は道徳科授業の命！

4 的を射た発問構成をするには教材分析が不可欠です！

- (1) 登場人物 A (おおかみ) の内面が微妙に変化するところで教材文を分けていく。
(細かく場面分けをする) **なぜ？**
- (2) 各場面の A の内面を様々 (多様) に想像してすべて書き出す。
(多ければ多いほどよい) **なぜ？**
- (3) 全場面の中から**中心発問場面**(本時のねらいに最も迫る発問場面※)を**1**つ決める。
- (4) 中心発問を支える**基本発問場面**を**2**つ決める。
- (5) 上記3つの発問の表現(問い方)よくを吟味・工夫して作る。

※教材「はしの上のおおかみ」(わたしたちの道徳:文科省)で演習

「はしの上のおおかみ」教材分析表 内容項目 B[親切、思いやり]
 < わたしたちの道徳 小学校1・2年(文科省) >
 ※本時のねらい 身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする気持ちを育てる。

※A欄の数字は行番号を表す。

場面の概要 key word	おおかみの内面	発問
①1行目～2行目 山の中の谷川の1 本橋		
②3行目～10行目 うさぎに「こら、こ ら」「もどれもどれ」 と言う。		
③11行目～13行目 うさぎがもどって いく。 「えへん、えへん」		
④14行目～18行目 きつねやたぬきを 追い返す。「こら、こ ら」「もどれもどれ」		
⑤19行目～22行目の読点、⑥22行目の読点～23行目、⑦24行目～25行目は省略		
⑧26行～30行 くまがだき上げ て、後ろへおろす。		
⑨31行～32行 くまの後ろすがた を見ている。		
⑩33行～42行 うさぎを後ろにお ろしてやる。		
⑪43行～47行 「えへん、へん」前よ りずっといい気持 ち。		